

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年8月29日(2024.8.29)

【公開番号】特開2022-137678(P2022-137678A)  
 【公開日】令和4年9月22日(2022.9.22)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-175  
 【出願番号】特願2021-37276(P2021-37276)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月21日(2024.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演出位置と待機位置とに変位可能な可動体を備え、

前記可動体が前記待機位置から前記演出位置に変位することで特定演出が実行されるように構成された遊技機であって、

前記可動体は、第1姿勢と、前記第1姿勢とは異なる第2姿勢とをとり得るようになっており、

前記可動体が前記待機位置から前記演出位置に変位する往路にて前記可動体の姿勢が前記第1姿勢となることを可能とする第1手段と、

30

前記可動体が前記演出位置から前記待機位置に変位する復路にて前記可動体の姿勢が前記第2姿勢となることを可能とする第2手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記可動体が第1速度で変位する場合に前記可動体の姿勢が前記第1姿勢となり、前記可動体が第2速度で変位する場合に前記可動体の姿勢が前記第2姿勢となるように構成されており、

前記第1手段は、前記往路にて前記可動体が前記第1速度で変位することを可能とするものであり、

前記第2手段は、前記復路にて前記可動体が前記第2速度で変位することを可能とするものであることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

40

【請求項3】

前記第1手段は、前記往路にて前記可動体が前記第1姿勢となった後、前記第1姿勢の状態の前記演出位置に到達し、前記演出位置にて前記第1姿勢に維持されることを可能とするものであり、

前記第2手段は、前記復路にて前記可動体が前記第2姿勢となった後、前記第2姿勢の状態の前記待機位置に到達し、前記待機位置にて前記第2姿勢に維持されることを可能とするものであることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

表示画面を有する表示手段を備え、

50

前記演出位置は、遊技機正面視にて前記可動体が前記表示画面と重なる位置であり、

前記特定演出の終了より後、前記可動体を前記演出位置から前記待機位置に復帰させる場合に前記表示画面に所定の画像を表示し、前記復路において、前記待機位置へ向けて変位する前記第2姿勢の前記可動体と前記所定の画像とによる所定演出を実行する手段を備えていることを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1つに記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

10

本発明は、

演出位置と待機位置とに変位可能な可動体を備え、

前記可動体が前記待機位置から前記演出位置に変位することで特定演出が実行されるように構成された遊技機であって、

前記可動体は、第1姿勢と、前記第1姿勢とは異なる第2姿勢とをとり得るようになっており、

前記可動体が前記待機位置から前記演出位置に変位する往路にて前記可動体の姿勢が前記第1姿勢となることを可能とする第1手段と、

前記可動体が前記演出位置から前記待機位置に変位する復路にて前記可動体の姿勢が前記第2姿勢となることを可能とする第2手段と、  
を備えていることを特徴とする。

20

30

40

50